

# 平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	障害者医療費支給事務				継続				
コード	39	-	23	-	01	-	00	予算事業名	障害者医療費支給
担当部署	保健医療部	医療助成課	福祉医療担当	予算事業コード	会計 10	款 03	項 01	目 01	

## 1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	1章	ともに助け合い、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち	根拠となる法令、条例等	川越市重度心身障害者医療費支給に関する条例、重度心身障害者医療費支給事業補助金交付要綱(県)
方向性(節)	1節	だれもが幸せに地域で暮らせるまちづくり	個別計画等の名称	川越市障害者支援計画
施策	3	障害者福祉の推進		
細施策	1	保健・医療サービスの充実		

## 2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	重度心身障害者(市民)を対象に、重度心身障害者の医療費のうち、保険診療による自己負担金を支給し、保健の向上と福祉の増進を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	身体障害者手帳1~4級、療育手帳(A)~B所持者、又は後期高齢者医療制度障害認定者である重度心身障害者等に係る医療費のうち、保険診療による自己負担金を支給する。

## 3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		1,055,861	1,134,895	1,129,289	1,170,381	1,120,521	
事業費	A	986,687	1,087,085	1,121,751	1,127,116	1,120,521	1,120,521
	B	15,620	22,740	22,740	23,480	23,480	22,560
総コスト(C=A+B)		1,002,307	1,109,825	1,144,491	1,150,596	1,144,001	1,143,081
正規職員(1年間の従事人数)		1.80人	2.70人	2.70人	2.80人	2.80人	2.80人
臨時職員(1年間の従事人数)		2.50人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	2.00人
国県支出金	D	273,079	300,864	308,994	316,152	407,500	407,500
その他特定財源	E	0	0	0	5,782	5,000	5,000
市の財政負担(=C-D-E)		729,228	808,961	835,497	828,662	731,501	730,581

## 4. 成果指標・活動指標による分析

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額  
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

活動	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
活動	受給者数	人	8,095	8,417	8,686	8,843	1年間の平均受給者数
活動	支給件数	件	195,367	208,960	215,347	221,328	1年間の支給件数
活動	支給額	千円	964,004	1,064,375	1,098,409	1,103,071	1年間の支給額
	中心指標の考え方	本事業は、活動指標を中心に評価する。					
	指標に基づく評価	受給者数・支給件数・支給額共に年々増加しているが、平成23年度より入院時の食事・生活療養標準負担額を段階的に廃止し、平成24年10月からは4級所持者に所得制限を設けるなど、安定的に事業を継続させるために、制度改正を行ったところである。					

## 5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
担当者に、他事業を兼ねる余裕はないため、可能な事務については臨時職員により対応しているが、支払基金等への委託を実施するため、臨時職員数については、検討する必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
県内各市町村で行われている事業であるが、身体障害者手帳4級に対する助成をしているのは県内で川越市だけである。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
重度心身障害者(児)とその家族の経済的負担が増えることにより、安心して治療を受けることができなくなる。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
対象者が健康でいきいきと安心して暮らすために、必要とする医療の支援は継続する必要がある。	